

令和4年度 教科の重点目標・実践事項

《国 語》

1. 重点目標 (1) 言語への感覚を豊かにすると共に、国語を尊重する態度を養う。
(2) 計画的、系統的に学習させ、基礎学力を身につけさせる。

2. 実践事項

(1) 現代の国語(1年)

ア 実社会に必要な国語の知識や技能を身につけさせ、文章を適確に理解、適切に表現する力を養う。

イ 論理的に考える力や他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思い・考えを広げ、深める能力を高める。

(2) 言語文化(1年)

ア 近代以降の優れた文章や作品を読解し、鑑賞する能力を高める。

イ 古典のきまりや表現表記の特徴をつかみ、読む能力を高め、思考力や感受性を養う。

ウ ものの見方や感じ方を深め、人生を豊かにする能力の向上を目指す。

(2) 現代文(2・3年)

ア 近代以降の様々な文章を読む能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深め、進んで表現し、人生を豊かにする態度を育てる。

イ 話すこと・聞くこと及び、書くことの言語活動について、積極的に取り組ませる。

ウ 優れた表現に多く触れさせることで、自ら表現する意欲を高めさせる。

エ 相手の立場や考えを尊重した態度で課題を解決したり、考えを深めたりする力を養う。

(3) 古典(2・3年)

ア 古典の語彙を増やし、文法を理解して内容を的確にとらえる。

イ 昔の人間・社会・自然への思想や感情を理解し、考え方を豊かにする。

ウ 中国の文化にもふれ、その関係について理解を深める。

(4) 探求現代文(2年選択)

ア 近代以降の文章を中心に、基礎的な読解力の向上を図る。

イ 問題演習を通して、出題の意図に即した解答の作成能力を養う。

(5) 探求古典(2年選択)

ア 古典を読んで、構成や展開に即して内容を的確にとらえる力を養う。

イ 問題演習を通して、古典の内容や表現の特色を理解しながら読解する能力を養う。

(6) 応用現代文(3年選択)

ア 近代以降の文章を中心に、読解力を高めるための取り組みを行う。

イ 演習を通して、制限時間内に内容を的確にとらえ、正解を導き出すことのできる力を養う。

(7) 応用古典(3年選択)

ア 古典を中心に学習し、読解力を高めるための取り組みを行う。

イ 演習を通して、制限時間内に内容を的確にとらえ、正解を導き出すことのできる力を養う。

(8) 発展評論(3年選択)

ア 評論を読む能力を高め、積極的に読み解く力を養う。

イ 様々なテーマについて書かれた評論を読み、文章構造に注意しながら読解する力を養う。

ウ 問題演習を通して、的確に論旨を読みとり、評論読解の実践的な力を養う。

(9) 小論文研究(3年選択)

ア 小論文を書く意義と書き方の概論を会得する。

イ 文章を読んで筆者の主張を正しく読み取り、自分の意見を述べる力を養う。

ウ 他の生徒の文章に触れ、相互添削や評価をすることで小論文に対応する力を高める。

(10) 基礎国語(3年選択)

ア 日本語の語彙の成り立ちや役割について、理解を深めるための取り組みを行う。

イ 日本漢字能力検定に対応する問題演習を中心に学習し、2級取得を目標とする。

ウ 主語と述語の関係や、修飾語と被修飾語の関係などに注意して短文を書く練習をし、読む人に書き手の意図が正しく伝わるわかりやすい文を書く力を高める。